

「NTT 東日本札幌病院に通院中または通院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ」（臨床研究に関する情報）

1. 研究名称 尿膜管遺残症に対する外科治療の検討

2. 研究機関：NTT 東日本札幌病院

研究責任医師 山田 秀久

研究分担者 道免 寛充

研究分担者 市之川 一臣

3. 目的と意義

当科で尿膜管遺残症に対して手術を行う際には、2013年以降、腹腔鏡を用いて遺残した尿膜管の切除を行っています。腹腔鏡を使用することで体への負担を減らす手術を行うことが可能と考えます。一方、既存の手術方法と比較して、短期のみでなく中長期的な治療成績の優越性は明らかとなっていません。患者さんが安全に、負担が少ない手術が受けられることを目的に、当院での尿膜管遺残症に対する外科治療の成績を検討します。

4. 研究の方法

(1) 研究対象者

2011年1月から2027年12月に当院で尿膜管遺残症に対して手術を行った方

(2) 研究方法

2006年1月から2027年12月に当院で尿膜管遺残症に対して手術を行う患者さんについて電子カルテで得られたデータを解析します。

(3) 使用する情報

この研究に使用するのは、カルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

年齢、性別、悪性の有無、炎症の有無、術前治療方法、緊急性、BMI、併存症、術式、手術時間、術後合併症、入院期間、再発期間、転帰。

(4) 研究機関

実施可能日～2028年3月31日まで

(5) 予定症例数

20 例程度

5. 研究の合理的根拠

治療結果を解析することにより、合併症や問題点を明らかにできます。また、中長期的な再発に関しても検討することから、治療の低侵襲性、根治性を確認することができます。

6. インフォームド・コンセントを受ける手続き

2006年1月から2027年12月までの期間にNTT東日本札幌病院外科において尿膜管遺残症に対する手術を受けた患者さんの中で、この研究に診療情報を提供したくない方は下記の間い合わせ先までご連絡ください。

8. 経済的負担について

この研究を行うことで患者さんに費用などの負担は生じません。

9. 研究結果の公表

学術会議への演題提出を予定しています。

10. 個人情報の取り扱い

お名前、住所等、患者さんを直接特定できる情報は収集しておりません。また、本調査結果として公表する内容は、集計結果に基づくものであり、患者さんを特定する個人情報（生年月日、イニシャル等）は含みません。

【問い合わせ先】

担当医師：NTT東日本札幌病院 外科 山田秀久

060-0061 北海道札幌市中央区南1条西15丁目

電話 011-623-7000